

調査票（大学事務局用）

本調査は、各大学の ICT（情報コミュニケーション技術）を用いた教育について調査することを目的としています。調査内容の詳細及び問い合わせ先につきましては調査票掲載サイト https://axies.jp/ja/ict/2017_survey をご覧下さい。

本調査は大学事務局の方にお聞きします。以下の設問にご回答下さい。

回答所用時間は 30 分程度です。

※ 特に指定がない場合、平成 29 年 12 月現在の状況についてお聞きします。

※ 機関を特定できる形での回答内容の公表は行いません。

貴学名称及び大学等コードをご記入下さい。

貴学名称

大学等コード

I. 基本情報

貴学の大学情報についてお聞きします。（ ）の中に数値を記入して下さい。

問 1. 地理的に分散しているキャンパス数、学部・研究科数、専任教員数、学生数、正職員数、年間の授業数についてご回答下さい。

(1)	キャンパス () 箇所	(2)	国内拠点・施設 () 箇所
(3)	海外拠点・施設 () 箇所	(4)	専任教員 約 () 名
(5)	学生（学部） 約 () 名	(6)	学生（研究科） 約 () 名
(7)	正職員 約 () 名	(8)	年間の科目数 約 () 授業

注：「正職員」は、当該機関において直接雇用された常勤の事務職員数をお書き下さい。外部資金等により雇用されるフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）及びパートタイムの非常勤職員は除きます。

注：「年間の科目数」は授業のコマ数ではなく、2セメスター制の半期を占める科目を「1」としてカウントして下さい。通年で開講される科目であれば「2」としてカウントして下さい。共通科目については、ダブルカウントとなっても問題ありません。

調査票（大学事務局用）

Ⅱ．組織戦略

貴学の ICT 活用教育（※）の全般的取り組みについてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

※ここで言う ICT 活用教育とは、情報コミュニケーション技術を利用した教育活動のこと。以下のものが例としてあげられる。e ラーニング・デジタル教材の公開・OCW や MOOC の公開や活用、シラバスの Web 公開、ICT ツールの授業利用、LMS（学習管理システム）や e ポートフォリオシステムの利用など。

問 2．ICT 活用教育を機関として重要と考えていますか？

1	とても重要である	2	ある程度重要である
3	あまり重要ではない	4	全く重要ではない
9	分からない		

問 3．ICT 活用教育の推進が組織のビジョンやアクションプランや中期計画に記述されていますか？（「1」と回答された方は問 5 へ進んで下さい。）

注：「アクションプラン」とは目標を達成するための具体的な実行計画の意味合いです。

1	記述されている	0	記述されていない
---	---------	---	----------

問 4．問 3 で「0．記述されていない」と回答された方にお聞きします。

今後の記述予定についてご回答下さい。（回答後、問 8 へ進んで下さい。）

1	記述を予定している	2	記述を検討している	3	検討も予定もしていない
---	-----------	---	-----------	---	-------------

問 5．ICT 活用教育において、学生と教員間、及び学生間のオンライン上のコミュニケーションに関して、全学的なルールや内規がありますか？

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問 6．ICT 活用教育の推進に関する計画は全学レベルで立案されていますか？（複数回答可）

1	年間の詳細計画がある	2	年度区切りの中期計画がある
3	大卒の目標のみされている	4	立案されていない

問 7．ICT 活用教育を推進する組織はありますか？それは学内のどのレベルの組織ですか？（複数回答可）

1	教員個人レベル	2	教員のグループ	3	学科・学部共通組織
4	全学共通組織	5	その他の組織（具体的に）		
6	存在しない				
9	分からない				

調査票（大学事務局用）

問 8. ICT 活用教育の推進に関する資金はどのように確保していますか？（複数回答可）
 （「4」または「9」と回答された方は問 10へ進んで下さい。）

1	学内資金	2	政府からの競争的外部資金
3	その他の外部資金（具体的に ）		
4	確保されていない		
9	分からない		

問 9. ICT 活用教育に関する資金として、どの程度の予算を確保していますか？昨年度 1 年間の予算額についてご回答下さい。

注：予算額には、学内の ICT 環境（LMS、教材作成支援等）の維持・管理にかかる費用、正規雇用以外で ICT 環境の維持・管理のために雇用又は派遣されたスタッフの人件費を含みます。情報インフラの保守管理のための費用や、部局独自の費用は含みません。

1	50 万円以下	2	51～100 万円	3	101～500 万円
4	501～1,000 万円	5	1,001～3,000 万円	6	3,001～5,000 万円
7	5,000 万円以上	9	分からない		

問 10. ICT 活用教育の推進に関する人材はどのように確保していますか？（複数回答可）

注：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい

1	学内兼任者	2	学内専任者
3	外部委託	4	アルバイト（職員）
5	アルバイト（学生）	6	確保されていない
7	その他（具体的に ）		

問 11. ICT 活用教育の効果測定は行われていますか？（複数回答可）

（「6」と回答された方は問 13へ進んで下さい。）

※学生アンケートには、授業評価アンケートを含む

1	学生アンケート（※）で教育効果を測定	2	小テスト、学期末テストで教育効果を測定
3	LMS 等で得られる学習データを利用して教育効果を測定	4	コスト削減効果を測定
5	OCW、MOOC 公開等による広報効果を測定	6	行われていない
7	その他（具体的に ）		

問 12. ICT 活用教育の効果測定結果は次期の実施に向けて反映されていますか？

1	よく反映されている	2	やや反映されている
3	あまり反映されていない	4	全く反映されていない
9	分からない		

調査票（大学事務局用）

問 1 3. ICT 活用教育の対象者は誰ですか？（複数回答可）

1	入学前の学生	2	一般の学生（通学）	3	社会人学生（通学）
4	学生（通信）	5	公開講座等の受講生	6	留学生
7	卒業生	8	教員	9	職員
10	執行部	11	その他（具体的に	）	

問 1 4. 今後 3 年の間、組織において以下の ICT に関わる項目に取り組むことをどの程度重要だと考えていますか？

	とても重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	分からない
(1) ICT を教育に活用するための支援	1	2	3	4	9
(2) ICT 活用を支援する資質の高いスタッフの雇用	1	2	3	4	9
(3) ユーザーサポートの提供	1	2	3	4	9
(4) ネットワークおよびデータのセキュリティ強化	1	2	3	4	9
(5) 学生の学習効果の向上や修了促進のための ICT および支援サービスの充実	1	2	3	4	9
(6) モバイル端末の導入支援	1	2	3	4	9
(7) オンライン教育および遠隔教育の支援	1	2	3	4	9
(8) ICT スタッフのための専門性育成	1	2	3	4	9
(9) 技術的なトラブルに備えた ICT を活用した業務の継続性確保と対策	1	2	3	4	9
(10) 学習データ分析（ラーニングアナリティクス）	1	2	3	4	9
(11) 経営データ分析（インスティテューショナルリサーチ）	1	2	3	4	9
(12) 学内ネットワークの更新	1	2	3	4	9
(13) 経年機材（ハード、ソフト）更新のための予算確保	1	2	3	4	9
(14) BYOD (Bring Your Own Device) の支援と管理	1	2	3	4	9
(15) クラウドコンピューティングへの移行	1	2	3	4	9
(16) 組織経営に用いる ICT システムの更新	1	2	3	4	9
(17) 他機関とのサービス共有や ICT 関連業務の提携	1	2	3	4	9
(18) LMS の更新	1	2	3	4	9
(19) デジタルコンテンツの管理	1	2	3	4	9
(20) ソーシャルメディアの教育利用	1	2	3	4	9
(21) その他（具体的に	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

Ⅲ. オープンエデュケーション

貴学のオープンエデュケーションやMOOCの全学的な取り組みについてお聞きします。
該当する番号に○を付けて下さい。

問15. オープンな教育リソース（OER）に関する貴学の認識の度合いについてご回答下さい。

注：「OER: Open Educational Resources」とは、インターネット等を通じて無償で入手可能な講義教材（OCW、講義ビデオ、電子教科書、学習コンテンツ等）、教育ソフトウェア等を含む教育リソースを指します。

1	よく認識している	2	やや認識している
3	あまり認識していない	4	全く認識していない
9	分からない		

問16. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での提供状況についてご回答下さい。

（「7」「9」に回答された方は問18へ進んで下さい。）

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な提供を検討している	7	提供する予定はない
9	分からない		

問17. 問16で「1～6」と回答された方にお聞きします。

OERを提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問18. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での利用状況についてお聞きします。

1	現在利用している		
2	次年度の利用を予定している	3	2～3年以内の利用を予定している
4	次年度の利用を検討している	5	2～3年以内の利用を検討している
6	時期は未定だが将来的な利用を検討している	7	利用する予定はない
9	分からない		

調査票（大学事務局用）

問19. 問18で「1～6」と回答された方にお聞きします。

オープンな教育リソース（OER）について、貴学での利用目的についてお聞きします。（複数回答可）

1	講義の必須教材として利用している		
2	講義の補助教材として利用している	3	外部公開など講義外で用いている
9	分からない		

※必須教材としての利用：学習者が必ず用いる、教科書や提示資料としての利用。反転授業向け予習教材も含む

※補助教材としての利用：学習者が任意で用いる補助的な資料としての利用

問20. 大規模公開オンライン講座（MOOC）について、貴学からの提供状況についてお聞きします。

（「2～6」を選択された方は問22に進んで下さい。）

（「7」又は「9」を選択された方は問23に進んで下さい。）

注：「大規模公開オンライン講座（MOOC: Massive Open Online Course）」は、インターネット等を通じ、誰もが無償または安価で受講できる講義のことです。大人数（数千～数万名）の受講者を対象としており、受講者は講義ビデオやオンラインテストなどを使って学習を進めます。通常、数週間～数ヶ月の受講期間が設けられており、受講期間終了後には成績が提示され、合格者には修了証が発行されることもあります。例えばedX、Coursera、JMOOC等のプラットフォームやサービス提供者があります。

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な導入を検討している	7	提供する予定はない
9	分からない		

問21. 問20で「1」と回答された方にお聞きします。

大規模公開オンライン講座（MOOC）について、公開先のサービスをお聞きします。（複数回答可）

1	edX、Coursera等の海外のサービスを利用している		
2	JMOOC等の国内のサービスを利用している		
3	外部サービスを用いず、独自の環境を構築し公開している		
9	分からない		

問22. 問20で「1～6」と回答された方にお聞きします。

MOOCで講義を提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

調査票（大学事務局用）

問 2 3. MOOC について、貴学以外の大学等で提供されている講義を、貴学で正式に利用していますか？

注：「正式な利用」とは、授業内外での補助教材（例：反転授業での利用）としての利用や、修了者への単位の振替などを含みます。

1	利用している	2	利用を予定している
3	利用を検討している	4	利用していない
9	分からない		

問 2 4. 問 2 3 で「1～3」と回答された方にお聞きします。

利用している MOOC について、貴学での利用目的についてお聞きします。（複数回答可）

1	講義の必須教材として利用している		
2	講義の補助教材として利用している	3	外部公開など講義外で用いている
9	分からない		

※必須教材としての利用：学習者が必ず用いる、教科書や提示資料としての利用。反転授業向け予習教材も含む

※補助教材としての利用：学習者が任意で用いる補助的な資料としての利用

問 2 5. 問 2 3 で「1」と回答された方にお聞きします。

利用している貴学以外の大学等で提供されている MOOC の講義が公開されているサービスについて、お聞きします。（複数回答可）

1	edX、Coursera 等の海外のサービスにて公開されている講義を利用している
2	JMOOC 等の国内のサービスにて公開されている講義を利用している
3	外部サービスを用いず、独自の環境で公開されている講義を利用している
9	分からない

調査票（大学事務局用）

IV. ICT 活用教育実施状況

貴学における ICT 活用教育の実施環境に関してお聞きします。
該当する番号に○を付けて下さい。

問 26. 全学で学習管理システム（LMS）を導入・運用していますか？

（「0. いいえ」と回答された方は問 29 へ進んで下さい。）

注：「LMS（Learning Management System）」とは、教材の配信、レポートや課題の提出、テスト、電子掲示板等の機能により授業に関する教育・学習環境を支援するためのオンラインシステムのことです。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問 27. 問 26 で「1. はい」と回答された方へお聞きします。利用している LMS をすべて選択して下さい。（複数回答可）

1	Blackboard	2	COURSEPOWER	3	Sakai
4	moodle	5	Web Class	6	. campus
7	manaba folio	8	Universal passport	9	独自開発システム
10	その他（名称：_____）				

問 28. 全学の学習管理システム（LMS）を、今年度、実際に利用している科目数についてお答え下さい。

注：登録のみで利用実態のない科目数は除きます。

注：「年間の科目数」は授業のコマ数ではなく、2 セメスター制の半期を占める科目を「1」としてカウントして下さい。通年で開催される科目であれば「2」としてカウントして下さい。共通科目については、ダブルカウントとなっても問題ありません。

1	約（_____）科目	9	分からない
---	------------	---	-------

問 29. e ポートフォリオシステムを導入していますか？

（「3. 導入していない」と回答された方は問 32 へ進んでください）

1	全学で導入している	2	一部部局で導入している	3	導入していない
---	-----------	---	-------------	---	---------

問 30. 問 29 で「1. 全学で導入している」「2. 一部部局で導入している」と回答された方へお聞きします。導入している e ポートフォリオシステムは何ですか？（複数回答可）

1	Chalk & Wire	2	FolioTek	3	FSU Career Portfolio
4	iWebfolio	5	Karuta	6	LiveText
7	Mahara（まはら）	8	manaba（まなば） folio	9	PebblePad
10	Sakai/OSP	11	TaskStream	12	独自で開発したシステム
13	教務管理システムなどで代用している				
14	その他（名称：_____）				

調査票（大学事務局用）

問3 1. eポートフォリオシステムの導入の目的は何ですか？（複数回答可）

1	学生が、特定の科目での学習状況を記録・活用するため
2	学生が、学内での学習状況を記録・活用するため
3	学生が、学外での学習状況を記録・活用するため
4	学生が、記録した学習状況を就職活動などに利用するため（キャリア・ポートフォリオ）
5	教員が、学生の学習状況を評価するため
6	教員が、自身の教育活動を記録し蓄積するため（ティーチング・ポートフォリオ）
7	機関が、学生の学習状況を管理・指導するため（学生カルテ）
8	機関が、教育の質を保証するため
9	その他（具体的に)

調査票（大学事務局用）

問 3 2. 全学的な ICT 環境の導入状況についてお尋ねします。以下の各項目についてご回答下さい。

	導入している	試行的に導入している	導入を予定している	導入を検討している	導入の予定はない	分からない
(1) キャンパス内の無線 LAN	1	2	3	4	5	9
(2) 機関が提供している公式 SNS	1	2	3	4	5	9
(3) 講義収録システム	1	2	3	4	5	9
(4) 講義教材・ビデオの一般公開 (OCW、YouTube 等)	1	2	3	4	5	9
(5) 電子教科書の作成・提供	1	2	3	4	5	9
(6) シラバスの公開	1	2	3	4	5	9
(7) 入学手続きシステム ¹	1	2	3	4	5	9
(8) 入学予定者向けサービスの提供 (入学前教育、リメディアル教材提供等)	1	2	3	4	5	9
(9) 卒業生向けサービスの提供 (e メールアドレス配布、SNS アカウント提供等)	1	2	3	4	5	9
(10) 履修登録システム	1	2	3	4	5	9
(11) 顧客管理システム (CRM) ²	1	2	3	4	5	9
(12) 学生情報システム (SIS) ³	1	2	3	4	5	9
(13) ヘルプデスクの設置	1	2	3	4	5	9
(14) メールシステム (教職員・学生向け)	1	2	3	4	5	9
(15) ウェブサイト管理システム	1	2	3	4	5	9
(16) その他 具体的にお願ひ致します。 ()	1	2	3	4	5	9

注 1：入学手続きシステム (Online Admission System) とは、高等教育機関が入学許可者を選抜するため、入学を希望する学生が、願書を提出したり高等教育機関が要求した課題・成績等の情報を応募のために提出するシステムのことです。

注 2：顧客管理システム (CRM: Customer Relationship Management) とは、オープンキャンパス、公開講座、サマースクール等への出席者の情報等を管理するシステムのことです。

注 3：学生情報システム (SIS: Student Information System) とは、例えば、学生の属性、学習履歴、履修状況、成績、出欠状況、スケジュール管理等、学生に関するデータを統合的に管理するシステムのことです。学生や関連するステークホルダーに対して有用な統計情報を提供する場合もあります。

調査票（大学事務局用）

V. ICT 活用教育の効果

貴大学の ICT 活用教育の導入効果についてお聞きします。
該当する番号に○を付けて下さい。

問 3 3. ICT 活用教育に期待される効果は何ですか？

以下の各項目についてご回答下さい。

	よく あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまら ない	全く あて はまら ない	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境の提供	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲の向上	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果の向上	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率の向上	1	2	3	4	9
(5) 大学の競争力や知名度の向上	1	2	3	4	9
(6) 受験生・留学生の獲得	1	2	3	4	9
(7) 学生市場の拡大	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業効率化	1	2	3	4	9
(9) 予算コスト削減	1	2	3	4	9
(10) 教育の質の向上	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員獲得	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスの向上	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業での利用	1	2	3	4	9
(16) PBL 型授業での利用 ¹	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間の向上	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願ひ致します。 ()	1	2	3	4	9

注1：Project-Based Learning、Problem-Based Learning を含みます。

調査票（大学事務局用）

問34. ICT活用教育を導入して実際に効果は得られましたか？

（「4又は9」と回答された方は問36へ進んで下さい。）

1	よくみられる	2	ややみられる
3	あまりみられない	4	全くみられない
9	分からない		

問35. 問34で選択肢「1、2、3」のいずれかを回答された方にお聞きします。

得られた効果は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	よく あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまら ない	全く あて はまら ない	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境を提供できるようになった	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲が向上した	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果が向上した	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率が向上した	1	2	3	4	9
(5) 競争力や知名度が向上した	1	2	3	4	9
(6) より多くの受験生・留学生が獲得できた	1	2	3	4	9
(7) 対象学生層が拡大した	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業を効率化できた	1	2	3	4	9
(9) 予算コストが削減できた	1	2	3	4	9
(10) 教育の質が向上した	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員を獲得できた	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用できた	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携ができた	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスが向上した	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業が増加した	1	2	3	4	9
(16) PBL型授業が増加した	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間が向上した	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願いします。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

問36. ICT活用教育の導入や推進を妨げる阻害要因は存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問38へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からない		

問37. 問36で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

その阻害要因は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	よく あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまら ない	全く あて はまら ない	分か ら ない
(1) 教職員の理解やモチベーションの不足	1	2	3	4	9
(2) 教職員の ICT 活用スキル不足	1	2	3	4	9
(3) 学生の ICT 活用スキル不足	1	2	3	4	9
(4) システム運用やコンテンツ開発に関する ノウハウの不足	1	2	3	4	9
(5) 著作権処理等のノウハウの不足	1	2	3	4	9
(6) 予算の不足	1	2	3	4	9
(7) 時間の不足	1	2	3	4	9
(8) インフラの不整備	1	2	3	4	9
(9) 教職員への ICT 活用の技術支援体制の不足	1	2	3	4	9
(10) 学習者への学習支援体制の不足	1	2	3	4	9
(11) システムやコンテンツを作成、維持する 人員の不足	1	2	3	4	9
(12) 学内の組織的な協力支援体制の欠如	1	2	3	4	9
(13) 学内コンセンサスの欠如	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

VI. 支援体制

貴学における支援体制についてお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。
尚、問39及び問43は、該当する場合のみ（ ）の中に記入して下さい。

問38. 全学的に ICT 活用教育の運用のための技術支援を行う組織は存在しますか？（「0」と回答された方は問41へ進んで下さい。）

注：本問以降、「技術支援」組織と「教育支援」組織を区別してお聞きします。「教育支援」については問42以降でお聞きします。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問39. 問38で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（ ）の中に記入して下さい。

注1：「アルバイト（学生）」は、ウェブサイトの管理、メディア教室や図書館等での教職員や学生向けの技術支援、ヘルプデスク対応、情報教育関連授業でのTA等の担当者を含みます。

注2：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注3：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えてください。（ ）
B	組織のスタッフ数を教えてください。 常勤（ ）名 非常勤（ ）名
C	内訳を教えてください。 (1)専任教員 ()名 (2)兼任教員 ()名 (3)職員 ()名 (4)アルバイト（職員） ()名 (5)アルバイト（学生） ()名 (6)その他 ()名
D	Cの内訳の中で、直接技術支援を行っている人数を教えてください。 (1)専任教員 ()名 (2)兼任教員 ()名 (3)職員 ()名 (4)アルバイト（職員） ()名 (5)アルバイト（学生） ()名 (6)その他 ()名

問40. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	知識・経験のあるスタッフの確保	6	組織内の人材育成
7	ICT活用教育に関する情報不足	8	特になし
9	その他（具体的に ）		
10	分からない		

調査票（大学事務局用）

問 4 1. ICT セキュリティに関して、昨年度1年間に起こったインシデント（実際に起きた事件・事故）についてご回答下さい。（複数回答可）

1	個人情報の盗難・紛失（ノート PC・USB デバイス等）	2	組織のネットワークへの外部からの攻撃・侵入
3	コンピュータウイルス	4	スパイウェア
5	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に関連する事件・事故	6	ホームページの改ざん
7	特になし		
8	その他（具体的に _____）		
9	分からない		

問 4 2. 全学的に ICT 活用教育の運用のための教育支援を行う組織は存在しますか？（「0」と回答された方は問 4 5へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問 4 3. 問 4 2で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（ _____ ）の中に記入して下さい。

注 1：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注 2：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えてください。（ _____ ）
B	組織のスタッフ数を教えてください。 常勤（ _____ ）名 非常勤（ _____ ）名
C	内訳を教えてください。 (1)専任教員 (_____)名 (2)兼任教員 (_____)名 (3)職員 (_____)名 (4)アルバイト（職員） (_____)名 (5)アルバイト（学生） (_____)名 (6)その他 (_____)名
D	Cの内訳の中で、直接教育支援を行っている人数を教えてください。 (1)専任教員 (_____)名 (2)兼任教員 (_____)名 (3)職員 (_____)名 (4)アルバイト（職員） (_____)名 (5)アルバイト（学生） (_____)名 (6)その他 (_____)名

問 4 4. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	知識・経験のあるスタッフの確保	6	組織内の人材育成
7	ICT 活用教育に関する情報不足	8	特になし
9	その他（具体的に _____）		
10	分からない		

調査票（大学事務局用）

以下は、技術支援組織と教育支援組織の両方についてお尋ねします。問38と42で「0.いいえ」と回答した場合は、回答不要です。

問45. 技術支援組織、教育組織は教員に対して次の支援を行っていますか？当てはまる欄にチェックを入れて下さい。

	技術支援組織と教育支援組織が行っている	技術支援組織が行っている	教育支援組織が行っている	行っていない	分からない
(1) LMS の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(2) LMS 以外の授業用グループウェアやコミュニケーションツールの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(3) e ポートフォリオシステムの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(4) ストリーミングサーバの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(5) e ラーニングコンテンツ作成システム（スタジオ等）の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(6) 授業用 Web ページ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(7) ビデオ教材作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(8) テレビ会議システムの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(9) PC・端末貸出	1	2	3	4	9
(10) ソフトウェア貸出・提供	1	2	3	4	9
(11) インストラクショナルデザインなどに基づく教授設計支援	1	2	3	4	9
(12) ICT 活用の個別相談・指導	1	2	3	4	9
(13) ICT 活用実施に関する資金補助	1	2	3	4	9
(14) ICT 活用事例の収集・広報・紹介	1	2	3	4	9
(15) ICT 活用授業の教員相互参観の促進	1	2	3	4	9
(16) ICT 利用のためのヘルプデスクの設置・管理運営	1	2	3	4	9
(17) ICT 利用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(18) ICT 利用のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

(19) 学外で行われる教育利用のための講習会・セミナーの紹介	1	2	3	4	9
(20) 学生アンケートによる授業方法改善の提案	1	2	3	4	9
(21) BYOD（PC 必携化）の支援	1	2	3	4	9
(22) 教室以外の学生のための学習空間の提供・管理運営（ラーニングコモンズ、自習室等）	1	2	3	4	9
(23) その他 具体的にお願い致します。()	1	2	3	4	9

問 4 6. 技術支援組織、教育組織は学生に対して次の支援を行っていますか？当てはまる欄にチェックを入れて下さい。

	技術支援組織と教育支援組織が行っている	技術支援組織が行っている	教育支援組織が行っている	行っていない	分からない
(1) PC・端末貸出	1	2	3	4	9
(2) ソフトウェア貸出・提供	1	2	3	4	9
(3) ICT 活用のためのヘルプデスク	1	2	3	4	9
(4) ICT 活用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(5) ICT 活用のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(6) 掲示板や学習クラブなど学生コミュニティの運営	1	2	3	4	9
(7) 学生アンケート結果の開示・返答	1	2	3	4	9
(8) その他 具体的にお願い致します。()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

VII. そのほか

問47. 本調査について、回答が困難であった質問項目にチェックを入れて下さい。（複数回答可）

- 組織戦略
- オープンエデュケーション
- ICT活用教育実施状況
- ICT活用教育の導入効果
- 支援体制
- 特になし

問48. 本調査に関連して、貴学におけるICT活用教育についての有益な情報や先駆的な取り組み、また他機関から得たい情報があれば、ご自由にご記入下さい。

回答欄：

調査票（大学事務局用）

Ⅷ. 回答者情報

本調査のご回答内容に関して、後日確認させて頂く場合がございますので、ご担当者の連絡先のご記入をお願い致します。

尚、本調査により得られた個人情報及び回答内容については、適正に取り扱い、集計分析及び報告書公開のご連絡以外に使用することは決してございません。

貴学名称	
貴学の長御氏名	
御担当者（所属）	
（役職）	
（氏名）	
電話番号	
E-mailアドレス	

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。